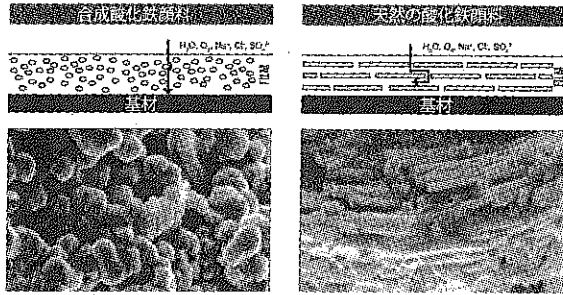


天然酸化鉄顔料を拡販

塗料添加で高バリア性

イーグルスミ

イーグルスミコーポレーション（東京都中央区、住吉徹社長）は、天然酸化鉄顔料の市場展開を強化する。日本国内における代理店権を持つスペイン企業の製品で、これまでの合成品と結晶構造が異なり、塗料に使用すると高いバリア効果を発揮する。すでに耐久性を必要とする船舶やアスファルトの塗料として実績があり、今後はガラスなどの着色剤としても提案していく考え。同社は塗料事業を重点営業分野の1つに位置付けており、広範分野で用途を掘り起していく。



イーグルスミコーポレーション（サラゴサ市）が自社生産の天然酸化鉄。主に顔料として使用される。2013年に代理店契約を締結し、輸入販売を開始した。

イーグルスミコーポレーション（サラゴサ市）が自社生産の天然酸化鉄。主に顔料として使用される。2013年に代理店契約を締結し、輸入販売を開始した。

塗料に使用した場合、積層状の結晶構造により水や酸素などの侵入を防ぐ。天然酸化鉄は積層状の結晶構造を持つことが最大の特徴。塗料に使用した場合、結晶構造が粒状の合成酸化鉄と異なり、外部からの水や酸素などの侵入を妨げる効果がある。分散性にも優れており、高密度の積層が重なることにより高いバリア効果を発揮するという。隠ぺい力や着色力に優れるため、すでに船舶の重防食塗装や赤色アスファルトなどの顔料として採用されている。ガラス

向けの顔料用途もターゲットと位置付けており、積極的に拡販する考え。イーグルスミは15年

（12月期）を最終年度とする5カ年の中期計画で、商品数と顧客数の倍増を重点テーマに掲げている。この一環として輸入商材の拡大にも力を入れており、引き続き国内代理店権取得へ向けた取り組みを積極化し、新商材を戦列に加えていくことで、新規顧客の開拓を進めていく。